



## 「努力のつぼ」

ど力のつぼ

角野 愛（一年）

「お母さん、努力のつぼのはなし、またして」「ウンいいよ。こんどはなあに」「さかあがり」「あらあらまだいっぱいになっていなかったのね。ずいぶんおきいねえ」と、いいながら、お母さんはいすをひいて、わたしのまえにすわりました。そして、もうなん回もしてくれた、ど力のつぼのはなしをまたゆっくりとはじめました。それはこんなはなしです。人がなにかはじめようとか、いままでできなかったことをやろうと思ったとき、かみさまからど力のつぼをもらいます。そのつぼは、いろんな大きさがあって、人によって、ときには大きいやら小さいのやらいろいろあります。そしてそのつぼは、その人の目には見えないのです。でも、その人がつぼの中にいっしょうけんめい「ど力」をいれていくと、それがすこしずつたまっていつか「ど力」があふれるとき、つぼの大きさがわかる、というのです。だからやすまずにつぼの中にど力」を入れていけば、いつか、かならずできるときがくるのです。

わたしは、このはなしが大すきです。ようちえんのときはじめてお母さんからききました。そのときは、よこばしごのれんしゅうをしているときでした。それから、一りん車や、てつぼうのまえまわり、とびばこ、竹うま。なんでもがんばってやっているとき、お母さんにたのんで、このおはなしをしてもらいます。くじけそうになったときでも、このおはなしをきいていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして、わたしの「ど力」がもうすこしであふれそうに見えるのです。だから、またがんばる気もちになれます。

お母さんのいうとおり、こんどのさかあがりのつぼは、すい分大きいみたいです。さかあがりをはじめから、もう二回もこのはなしを、してもらいました。でも、こんどこそ、あとすこしで、あふれそうな気がします。だから、あしたからまたがんばろうとおもいます。

お母さんは、「つぼが大きいと、とてもたいへんだけど、中みがいっぱいあるから、あなたのためになるのよ」といつてくれるけど、こんどかみさまにもらうときは、もうすこし小さいつぼがいいなあとおもいます。

朝日作文コンクール入選作1

子どもを変えた「親の一言」作文25選

(明治図書)より

## ■この作文のよみどころ

## ●野口芳宏のコメント（私が励まされ、私が力づけられた）

ああ、何といいお話だろう。この文章を書いている私はと言えば、もう六十一歳にもなるお爺さんである。六歳と、二歳と0歳の三人の孫もいるお爺さんである。そのお爺さんの私が、角野さんが一年生のときに書いた作文によって、新しい希望を持ち、大きな勇気が湧き、元気が出て来たように思う。「努力の壺」の話は、子どもからお爺さんまで、つまり、人生のどこを歩いている人にも励ましと勇気とを与えてくれると思う。

「壺の中に『努力』を入れていくと、それが少しずつ溜まって、いつか『努力』が溢れる。その時、壺の大きさがわかる」

何と素敵な話ではないか。私は六十一年間この話を知らずに来たことを残念に思うけれど、しかし、七十や八十になって聞いたのではなく、六十一歳の若さでこの話に出会えたことを、とても有り難い幸運と思う。

出典はいったいどこにあるのだろう。あるいはこれは角野さんのお母さんの創作なのだろうか。最後のお母さんの言葉は圧巻である。

## ●水野茂一のコメント

私は、この作品を読む迄、つまり六十五、六迄もこの話、こういう考え方を知りませんでした。

この作者は、この話を幼児の時から、折にふれ耳にし、小学一年生でこんな立派な作品に仕上げています。

作品に仕上げられたということは、こういう生き方が、もう、身につけてきたということだと思えます。

角野さんの一生を考えますと、こういう考え方、生き方から、角野さんは、かなり重要なことを吸収できるに違いないと思えます。

私が、もし、小学生時代に、こうした考え方がしっかりと育っていたら、もっと、大きな存在になれたのではと、少し考え込んでしまいました。

一芸に秀でる可能性は、誰にもあることと、絶えざる努力の大切なことが、心から納得させられます。

学年通信 No.16(7/29)で、東大薬学部の池谷裕二氏の「努力の効果」「成長曲線のグラフ」について紹介しましたが、この「努力のつぼ」の話は、「『繰り返す努力』と『めげない根気』をもってことに臨めば、能力は『累乗の関数』で伸びる」ということと共通していると思います。

『なかなか結果が現れなくても、簡単にあきらめてはいけません。ものごとを習得する場合、「努力の継続」が必須条件です』（池谷氏）

これは、

『その人がつぼの中にいっしょうけんめい「ど力」をいれていくと、それがすこしずつたまっていつか「ど力」があふれるとき、つぼの大きさがわかる、というのです。だからやすまずにつぼの中にど力」を入れていけば、いつか、かならずできるときがくるのです。』（角野さん）

と同じことを言っていますね。

残念ながら、何もしないで、さぼっていて「つく力」はありません。

皆さんが「自分の力を、そんぶんに伸ばして行ってほしい」「そして、ゆたかな人生を歩んで行ってほしい」と、いつも心から願っています。

## 来週の予定 長月

※変更もあります

		登校時間	授業等	備考	完全下校
7	月	部活朝練 7:30	月①～⑤		15:30
8	火		火①～⑥	放課後：立候補者会議	18:15
9	水	水①～⑥	放課後：体育大会係別打合せ		
10	木	それ以外 8:00～	木①～⑥		
11	金		金①～④月②金⑥		

その他 持ちもの

- 通学カバン    生活ノート    筆記用具    箸セット（スプーン）    ナフキン  
ハンカチ（ハンドタオル）数枚    ティッシュ    水筒（十分に用意する）



がんばるぞーっ！！